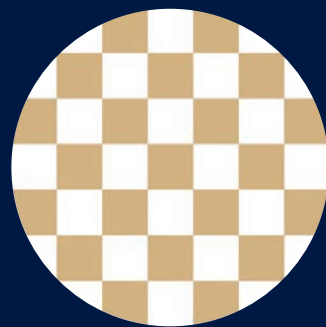


# 議会だより



特集 友好都市江戸川区に取り組みを学ぶ!! 安曇野市でカヌースラローム大会	2
信州やまほいく認定制度の議員研修会を開催しました	5
平成29年度一般会計決算を認定 地域の均衡ある発展と住民福祉の充実のために	6
9月定例会で決まりました 土地の取得（新総合体育館建設用地）	8
常任委員会報告	12
市政のここが聴きたい!! 一般質問	15
市民の声	24

第52号

発行 安曇野市議会  
平成30年(2018年)  
11月21日



羽根田卓世カヌースラローム大会!  
オーストリア選手がホストタウンの安曇野市に



**安曇野市議会が東京都江戸川区を視察（8月2日～3日）**

東京2020オリンピック・パラリンピック（以下東京2020）に向けて、おもてなしの心や施設整備の準備過程をオリンピック推進担当課長からお聞きし、本市におけるオーストリアのホストタウンとしての受け入れの参考にしました。また、施設整備については、東京都知事の「レガシー」（後世に残す遺産）の意向を具現化し、後世に負担なく有効利用する方式は、本市における公共施設の再配置を含め、検討すべき課題だと再認識しました。

大会の成功だけではなく、大会後の取り組みにも重きを置き、青少年の教育・文化交流の

**特集**

**友好都市  
江戸川区に**

（オリンピックのカヌースラローム競技会場）

**取り組みを学ぶ!!**

**江戸川区との友好**

江戸川区との交流は、旧穂高町が旧有明小学校跡地を江戸川区へ譲渡したことが縁で始まり、昭和49年2月15日に友好都市盟約を結びました。

平成19年8月4日、安曇野市として友好都市提携を結び直し、江戸川区民まつりや花火大会への参加、スポーツ交流、青少年交流などを通じて友好を深めています。

また、江戸川区立穂高荘が安曇野の大自然の中にあります。自然の恵みの温泉宿泊施設で、やすらぎのひとときが過ごせます。江戸川区民も安曇野市民も利用できます。

これからも江戸川区との縁を大切にして、市民同士の交流が進むように議会としても働き掛けていきたいと思います。



友好都市盟約40周年記念に  
本市が江戸川区へ寄贈したケヤキの前で



江戸川区立 穂高荘（旧有明小学校跡地）



江戸川区議会との交流

おもてなし、安心安全に向け地域住民とともに取り組む姿勢やバリアフリー等のまちづくりの実現など、五つのメニュー（下段）があり、区の未来へ向けた素晴らしい夢の計画だと感じました。



**東京2020に向けた  
江戸川区の5つの  
メニューを参考に**

江戸川区は2016年1月に東京2020に向け、「江戸川区推進プログラム」を策定しました。大会の成功と区の発展に向けた五つの柱から成り立っています。

- 1 **スポーツ・健康**  
世代を問わずスポーツに親しみ、健康的に暮らせるまちの実現
  - 2 **教育**  
外国語や外国文化、スポーツに親しむ機会を増やすなど、国際感覚豊かな人材育成の推進
  - 3 **文化・国際交流・おもてなし**  
国内外の来訪者をもてなす「心」の醸成や、魅力ある地域資源の発掘・発信
  - 4 **安全・安心**  
防犯・防災対策などの推進について、地域住民とともに取り組むまちの実現
  - 5 **まちづくり**  
バリアフリーや環境負荷の低減を含め、誰もが住みやすく訪れやすいまちの実現
- 以上の分類ごとに、策定に至った経緯やこれからの目指す

**安曇野市は東京2020の  
オーストリアの  
ホストタウンに**

本市はオーストリアのホストタウンになっていて、クラムザッハとは姉妹都市です。9月には市が招待したオーストリアのカヌー女子選手2名が来日し、明科の前川での「羽根田卓也カヌースラローム大会」（詳細は4ページ）に参加しました。滞在中には、安曇野・クラムザッハ友好会主催の音楽コンサートも訪れ、市民との交流を楽しみました。



チロル音楽と日本の唱歌の夕べ

本市はホストタウン事業を東京2020後も継続し、カヌー競技も含めてオーストリアとの人的交流や文化的交流に取り組んでいく方針のため、議会も市と協力し、連携していきたいと

方向性等をお聞きしました。おもてなしについては、ボランティア育成講座の開催や外国語表記の案内板設置は当然のこと、商店街の方を対象にした研修会も行っています。また、大会後にも安心・安全なまちづくりが継続されることにも共感し、本市のインバウンド・観光などの取り組みの参考となりました。

**オリンピックの  
カヌースラローム  
会場を視察**



江戸川区葛西臨海公園に建設中の  
カヌースラローム会場

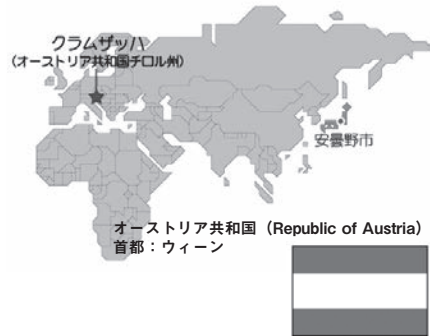
オランダのホストタウンでもある江戸川区は、カヌースラローム競技会場にもなっています。本市議会では、建設が進む現場を視察しました。

**クラムザッハとの交流**

オーストリアのクラムザッハとの交流は、旧豊科町が昭和60年にあづみ野ガラス工房を開設した頃、ヨーロッパで唯一の国立ガラス専門学校がクラムザッハにあることを紹介され、それを視察したことが縁で始まりました。

平成元年6月に双方の友好会で友好協定を結び、平成5年11月には自治体同士で姉妹都市提携を締結しました。

平成19年11月4日、安曇野市として姉妹都市提携を結び直し、相互訪問など民間レベルでも幅広い交流が行われています。



**友好交流の経緯・オーストリアのホストタウン**

**友好都市交流・ホストタウン先進地視察**





# 安曇野市でカヌースラローム大会



## 羽根田卓也 カヌースラローム大会で インタビュアー

2018年9月23日(日)に、安曇野市明科の前川において「第3回羽根田卓也オリンピックメダル獲得記念カヌースラローム大会」(愛称はハネタクカップ)が開催されました。競技者は、招待選手3人(オーストリア女子選手2人と日本人女子選手1人)と一般選手71人の合計74人。天候にも恵まれ、手作り感のあるよい大会でした。

また、前川では、「にじますカップ」が毎年6月に開催されていて、今年は23回目でした。羽根田さんは子どもの頃から何回も来て、基礎的な練習を積んでいました。

なお、両大会は安曇野リバープレイヤーズクラブが主催しています。

初めて来た。勢いのあるスポーツだと思った。水が苦手だけれど、もし叶うならやってみよう。



上條美香さん (穂高)  
(今回の大会記念Tシャツの絵柄を担当)

前川は水量が安定していて、下って上ってこられる珍しい川で、初心者がレベルアップしていける。小中学生にはすごくいい。

ルールがわからない。競技についてアナウンスがあるといい。大会をもっとPRするとうい。



小岩井 架達司さん (明科)  
(犬の散歩をしながら観戦)

観客が多くなって人気が出てほしい。観覧席があるといい。競技について知らないの、説明があったり、気軽に聞ける人がいたりするとうい。



宮本 豊明さん (穂高)  
(大会出場選手)



森 正夫さん (穂高)  
(サイクリング途中で寄られて)

カヌー大会が、ここに暮らしている豊かさを見直すきっかけになってほしい。オリンピックは手段の一つであって、地元のよさを再認識して地元を好きになってほしい。

もうちょっと周知する方法が必要では。地元からバックアップしていきたい。プールでの講習はいいことで、子どもが始めると周りの大人も知ってくる。



丸山 繁子さん (明科) (左) と 山崎 富美恵さん (明科) (右)  
(販売ブースのスタッフ)

競技のことをみんながわかれば見に来るし、やりたいと思うのではないかな。明科(前川)でやっているとうい地元の人たちに知らせたい。



大沢 勇治さん (松本市島内、勤務地は明科)  
(安曇野リバープレイヤーズクラブ副代表)

カヌー人口を増やすには、カヌー教室をやることや行政が協力して道具を買い揃えて使えるようになることが必要。前川のコースは基本練習には一番よく、安心してできる。



羽根田 邦彦さん (愛知県豊田市)  
(卓也さんの父親)

## 羽根田卓也カヌースラローム大会開催「かがやく安曇野人!!」

## 信州やまほいく認定制度の議員研修会を開催しました

### 長野県県民文化部次世代サポート課 竹内延彦さんを講師にお招きしました

安曇野市は、「信州型自然保育認定制度」をいち早く取り入れ、平成30年10月1日現在、市内の公立認定こども園全園と3つの認可外保育施設が認定を受けていますが、その制度運用や実態を知るため議員研修会を行いました。



講師 竹内延彦さん

「しあわせな人生に不可欠な幼児期の育ちと学び」と題した講演があり、幼児期の大切さや子どもをまんなかに考える保育・幼児教育について学びました。

「園によって周りの自然環境が異なるが、カリキュラムの工夫は」「自然保育で育った子どもたちが小学校以降の集団生活にうまく適合できるのか」等、活発な質疑がされました。議会としても本市における保育・幼児教育のますますの充実が図られるよう、見守っていきます。



研修会の様子

### 信州やまほいく認定制度 (信州型自然保育認定制度)とは?

信州の豊かな自然環境と様々な地域資源を活用した体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育が自然保育です。その社会的認知、信頼性、質の向上を担保するために、自然保育に取り組む団体を長野県が独自に認定し、支援する仕組みが信州やまほいく認定制度です。特化型と普及型(下記※参照)があります。子どもが生まれ持っている「自ら学び成長しようとする力」を多様な豊かな直接体験を通じて、自己肯定感と自信を育むことを目的としています。

### 【自然保育に期待される主な効果】

- 子どもにとって
  - ・自己肯定感、社会性、創造性等が向上する
  - ・学童期の体力が向上する
  - ・発達の凸凹や様々な特性を持つ子どもにも有益である
- 保育士にとって
  - ・仕事のストレスが軽減され保育への意欲が向上する
  - ・保護者とのコミュニケーションが広がり、信頼関係が構築できる
- 地域社会にとって
  - ・子育てが楽しいという保護者が増える
  - ・子育て世帯の「移住促進」の原動力になる
  - ・地域住民の交流が広がり、地域が活性化される

### ※信州やまほいくの特化型と普及型

- 特化型
  - 質・量ともに自然保育に重点を置いて取り組んでいる(1週間で合計15時間以上)
- 普及型
  - 他のプログラムと一緒に自然保育にも積極的に取り組んでいる(1週間で合計5時間以上)

平成 29 年度  
一般会計  
決算を認定  
(前年比 4 億 9,958 万円減)

# 地域の均衡ある発展と住民 使ったお金は 404 億

# 福祉の充実のために 2,700 万円

市民  
一人あたりにすると  
約 41.3 万円  
(2018 年 10 月 1 日  
現在)

平成 30 年 9 月定例会が 9 月 3 日から 28 日までの 26 日間開催され、平成 29 年度決算を含む議案 37 件と請願 2 件・陳情 5 件が審議されました。その中から、本会議での質疑と討論を紹介します。

## 討 論

### 平成 29 年度一般会計決算 (議案第 82 号)

#### 反対の意見

井出 勝正 体育館計画は今も多くの市民に反対意見がある。38 億円、備品費 1 億 5 千万円、約 40 億円の建物が今必要なのか。保育政策も 2 園だけ整備計画から外し、統廃合・民営化は問題である。廃止となった住ま居る応援制度も循環型地域経済の観点から推進すべきだ。

#### 賛成の意見

山田 幸与 5 つの重点事業に取り組む中、人件費等の削減を図っており、行政スリム化への取り組みが行われている。また、財政健全化に向けた取り組みもしっかり行われ、将来世代につけを回さない、持続可能な財政運営が確認できる。その結果、市民福祉の向上にもつながっている。

### 平成 29 年度国民健康保険特別会計決算 (議案第 83 号)

#### 反対の意見

白井 泰彦 保険税の負担水準は他の医療保険並みに引き下げることが必要。基金残高は平成 29 年度末、約 8 億円で、1 世帯当たり 1 万円の引き下げは可能。

#### 賛成の意見

一志 信一郎 国保運営は県が主体となり、高齢化や医療の高度化により医療費が伸び、基金を取り崩すことが想定される。今ある基金は必要である。

#### ◆安曇野市の一般会計および特別会計

※万円未満は、切り捨て処理をしているため、差引額に相違が生じています。

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	411 億 3,561 万円	404 億 2,779 万円	7 億 782 万円

特別会計	歳入	歳出	差引
国民健康保険	120 億 1,446 万円	117 億 2,053 万円	2 億 9,393 万円
後期高齢者医療	11 億 2,363 万円	11 億 243 万円	2,119 万円
介護保険	89 億 6,504 万円	88 億 1,487 万円	1 億 5,016 万円
上川手山林財産区	252 万円	159 万円	92 万円
北の沢山林財産区	82 万円	25 万円	56 万円
有明山山林財産区	126 万円	24 万円	101 万円
富士尾沢山林財産区	96 万円	20 万円	76 万円
穂高山林財産区	147 万円	25 万円	121 万円
産業団地造成事業	1 億 1,395 万円	1 億 1,335 万円	60 万円
観光宿泊施設	1,407 万円	1,406 万円	0 万円

#### 水道事業会計

収益的収支	
収入	23 億 4,129 万円
支出	19 億 2,029 万円
資本的収支	
収入	7,499 万円
支出	14 億 72 万円

#### 下水道事業会計

収益的収支	
収入	45 億 1,983 万円
支出	38 億 2,900 万円
資本的収支	
収入	5 億 6,111 万円
支出	24 億 4,657 万円

#### 給食センター学校給食費

**問** 給食費の未収金対策は。

**答** 督促状、催告書の発送をしている。保護者の同意を得て、児童手当から直接給食費を徴収している。

#### 安曇野の里の湧水探索路事業

**問** 3 年間の事業費合計が 1 億 140 万円。それだけの効果があるのか。

**答** 地元はもちろん、観光客にも探索してもらう。案内板の設置、周知は、管理者とともに対応する。

#### 狩猟者確保事業

**問** 狩猟者数の減少の食いとめ、狩猟者確保の方策は。

**答** 補助金意外にも県実施のハンター養成学校の周知や狩猟免許試験を当市で開催するよう県に協力する。



### 議案質疑

私たち議会は決算内容のこれらの点に注目しました。

#### ふるさと寄附金

**問** ふるさと寄附金現在高が 17 億 5,100 万円。活用計画は。

**答** 地域の魅力を楽しむ体験型・交流型の観光促進、自転車を活用したまちづくり、教育施設等の環境整備に活用していく。

#### 地下水保全施策

**問** 地下水採取の上限量規制は考えていないのか。新たな涵養策は。

**答** 大手場水業者は条例前から利用しているので、既得権で規制は難しい。涵養策の具体的な方向性は見出していない。

#### 入浴料金割引券交付事業

**問** 割引券利用率アップの方策は。

**答** 事業の目的と効果を十分説明し、広報やコミュニティー FM 等で PR に努める。

#### 災害時医療救護活動

**問** ヨウ素剤の備蓄だけでなく、個別配布について検討したか。

**答** 市の災害時医療救護活動マニュアル検証委員会で検討したが、現実的ではないとの意見。市民には訓練を通じて啓発をしていく。





# 9月定例会で

# 決まりました

・全議案の審議の結果  
→ 10 ページ  
・議案ごとの賛否  
→ 11 ページ

参照

## 補正予算 審議

議案第 72 号

平成 30 年度安曇野市一般会計補正予算（第 2 号）

可決

補正前の予算額 → 補正額 → 補正後の予算額  
403億7,300万円 2億3,200万円 406億500万円

**反対の意見** 増田 望三郎 新総合体育館建設には一貫して反対している。

**賛成の意見** 沼田 義人 体育館建設は合併協議会の懸案事業。本年度は詳細設計を進め、平成 32 年の完成を目指している。行政はルールに従って粛々と進めている。

**反対の意見** 猪狩久美子 公共施設再配置計画のスポーツ施設の床面積を減らす内容と整合性がない。少子化・人口減を考えれば、維持管理費も抑制しなければならない。これと矛盾する。

**賛成の意見** 坂内 不二男 補正は用地補償の振り替えに伴うもの。メインアリーナはバスケットボールのコート 2 面を取ったときの安全性に配慮したもの。新総合体育館は、南社会体育館には整備されていなかった更衣室やシャワー室や人と人との交流の場等で面積は増えるが、南部地域の避難場所として大きな役割がある。

**反対の意見** 小林 純子 新総合体育館整備計画に民意が反映されず、過剰な財政負担を将来につけ回す形で進められている。建設は決まったことだが、少数意見の尊重も民主主義のルール。議会では少数であっても、世論や民意は決して少数ではない。

**賛成の意見** 小松 芳樹 今回の補正は用地費用を補償費に充てるもので、土地を買うとかでなく、財源の移動もない。追加の 2 億 3 千万円は、どれをとっても大事で緊急を有する。

### ◎平成 30 年度安曇野市の主な特別会計補正予算

(万円未満は切り捨て処理をしています。)

特別会計	補正額	補正後の額
国民健康保険（第 1 号）（議案第 73 号）	1 億 1,623 万円	105 億 8,666 万円
介護保険（第 2 号）（議案第 74 号）	5,755 万円	93 億 7,053 万円

## 契約

議案第 10 号

明科南認定こども園建設事業建設主体工事請負契約について

・契約金額 6 億 6,960 万円

可決

## 人事案件

議案第 98 号 固定資産評価審査委員会委員に 神戸美佳さんに同意した。

議案第 99 号 人権擁護委員の推薦につき 宮沢雅明さん、有賀朝一さん、松岡信之さんを適任とした。

### 議案第 97 号 土地の取得について（新総合体育館建設用地）

可決

**反対の意見** 増田 望三郎 新総合体育館建設と穂高プールの存続廃止は関連する。公共施設再配置計画発表時に、穂高プール廃止が公表されていたら、体育館建設計画の議論も違うものになったのではないかと懸念。全ての材料をオープンにして、市民とともに、体育館とプールを 1 つに考えることが公共施設再配置の本質だ。

**賛成の意見** 竹内 秀太郎 社会資本整備総合交付金のためには 10ha の土地が必要。反対すると 10 億円の損失が推測される。自らの考えと違っても議会の議決は最大限尊重すべきだ。体育館建設は合併時の約束だ。8,450㎡から 7,300㎡に縮小され、事業費も検討を重ねて 38 億円となったものだ。

**反対の意見** 猪狩久美子 体育館建設は、市民の身近にあって身の丈に合ったものにすべきだ。市長は、少子高齢化、人口減少でプールの廃止は避けられないという。自治体も時代の変化に対応していかなければならないなら、体育館建設も例外であってはならない。市民の反対の声も大きい。

**賛成の意見** 松枝 功 合併時の約束だからでなく、新市で決定すべきものだ。体育館建設はスポーツによるまちづくりのために有効であり、市民の理解も得られる。土地取得は体育館建設に不可欠だ。

**反対の意見** 小林 純子 新総合体育館は合併協議で持ち込まれた事業だが、合併後に市民アンケートも取られなかった。アンケートを取っていたら、建たないと言われた。合併協では 6,100㎡だったものを 7,300㎡にする必要はなく、土地の取得も必要ないとする。

**賛成の意見** 藤原 陽子 防災拠点という大きな役目を持つ総合体育館が南部には必要。早期に土地を取得し、安心の施設になるよう取り組んでもらいたい。

### ○継続審査となった 2 つの陳情について、本会議での質疑（答弁者は各委員長）

#### 陳情第 6 号 安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する陳情（福祉教育委員会）

**問** 委員長報告では採択されるような内容だったが、継続審査となった理由は。

**答** 時間を延長して審査したが、陳情者から、代替案への移行や縮小、どちらも受け入れる用意があるという表明があったので、十分時間をかけ審査する必要があると判断した。

**問** 深い論議をするための継続ということだが、議会としてどのような実動をするのか。

**答** 陳情者、行政側双方から意見を聞き、合意点を見つけ、議会が間に入って役立つ努力ができるかどうか協議して決めたい。

#### 陳情第 7 号 主要農作物種子法の復活をもとめる陳情（経済建設委員会）

**問** 陳情内容に誤解があるのではないかと。国は種子法の役目が終わったと判断して廃止した。地方自治体で同様の条例や要綱を作る付帯決議もされた。賛成の意見や継続審査とした理由は。

**答** 地方議会で同様の陳情が採択されている。6 月の県議会でも県条例を設ける請願が、全会派で採択されたという賛成意見があった。現時点では委員の認識、調査不足があり、継続審査とした。

引き続き、より深い審査をしていきます。

9月定例会で審議した結果です

議案等の賛否一覧（賛否が分かれた議案等）

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長

議案番号	議員名	議決日	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案第72号	平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第2号）	9/28	原案可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第82号	平成29年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9/28	認定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議
議案第83号	平成29年度安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/28	認定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議
議案第85号	平成29年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/28	認定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議
議案第95号	訴えの提起について	9/28	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第96号	市道の認定について	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第97号	土地の取得について	9/28	原案可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議
陳情第4号	家庭教育支援法の制定を求める意見書提出の陳情	9/28	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	議

報告事項

報告番号	件名	結果
19号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（倒木による家屋損傷事故に関する事）	受理
20号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（道路事故に関する事）	
21号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（道路事故に関する事）	
22号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（穂高北小学校教職員駐車場で発生したコンパネ飛散による教職員自家用車への損傷に関する事）	
23号	債権放棄の報告について（老人入所措置費個人負担金に係る債権）	
24号	平成29年度決算に基づく安曇野市健全化判断比率について	
25号	平成29年度決算に基づく安曇野市産業団地造成事業特別会計資金不足比率について	
26号	平成29年度決算に基づく安曇野市観光宿泊施設特別会計資金不足比率について	
27号	平成29年度決算に基づく安曇野市水道事業会計、安曇野市下水道事業会計資金不足比率について	認定
28号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（施設事故に関する事）	

産業・経済・観光

議案番号	件名	結果
75号	平成30年度安曇野市上川手山林財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
76号	平成30年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
77号	平成30年度安曇野市有明山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
78号	平成30年度安曇野市富士尾山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
79号	平成30年度安曇野市穂高山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
80号	平成30年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	
81号	平成30年度安曇野市観光宿泊施設特別会計補正予算（第1号）	
86号	平成29年度安曇野市上川手山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
87号	平成29年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
88号	平成29年度安曇野市有明山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
89号	平成29年度安曇野市富士尾山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
90号	平成29年度安曇野市穂高山林財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	
91号	平成29年度安曇野市産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
92号	平成29年度安曇野市観光宿泊施設特別会計歳入歳出決算の認定について	

総務・政策・財政・環境

議案番号	件名	結果
68号	安曇野市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
72号	平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第2号）	9ページ、14ページへ
82号	平成29年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について	6ページ、7ページ、12ページへ
97号	土地の取得について	8ページ、14ページへ
100号	明科南認定こども園建設事業建築主体工事請負契約について	9ページへ
101号	和解及び損害賠償の額を定めることについて（自動車事故に関する事）	原案可決

建設・水道

議案番号	件名	結果
93号	平成29年度安曇野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
94号	平成29年度安曇野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決
96号	市道の認定について	原案可決

健康・福祉

議案番号	件名	結果
69号	安曇野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
71号	安曇野市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	
73号	平成30年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
74号	平成30年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第2号）	9ページへ
83号	平成29年度安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	7ページ、12ページへ
84号	平成29年度安曇野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
85号	平成29年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12ページへ
95号	訴えの提起について	原案可決

請願

請願番号	件名	結果
1号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書	採択
2号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書	

陳情

陳情番号	件名	結果
3号	長野県池田工業高校への支援に関する陳情書	継続審査
4号	家庭教育支援法の制定を求める意見書提出の陳情	不採択
5号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択
6号	安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する陳情	8ページ、13ページへ
7号	主要農作物種子法の復活等をもとめる陳情	8ページ、14ページへ

議員提出議案

議員提出	件名	結果
1号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	原案可決
2号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	
3号	私立高校への公費助成に関する意見書	

教育

議案番号	件名	結果
70号	安曇野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決

人事

議案番号	件名	結果
98号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	9ページへ
99号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

ご存知ですか？

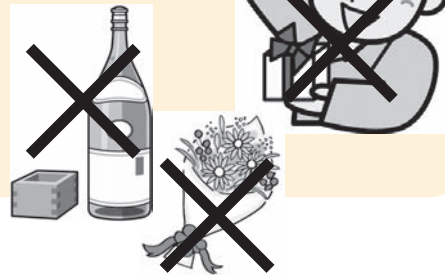
# 寄附禁止

『寄附行為 しない、させない、求めない』

善意でしたことでも罰せられます。  
議員ひとりひとりが襟を正して市民の皆さんと正しい関係を築きます。

寄附行為の禁止事項の例

お中元、お歳暮、入学祝い、結婚祝い、お祭りの寄附、お見舞い、餞別、開店祝い、自ら出席しない結婚式の祝儀・葬式の香典、各種大会・祝賀会への寸志、社殿や本堂の修復のための寄附、本文を自筆していない年賀状や寒中見舞状などの挨拶状、有料で新聞に出す名刺広告、災害見舞い・会葬御礼などの広告



※禁止される寄附の相手は有権者に限りません。18歳未満の人や社会福祉施設、市に対する寄附もできません。  
※地域で行われる各種催しに議員をお招きいただく際に、飲食を伴う実費・会費が必要な場合は、ご案内文中に金額をご明示くださいますようお願い申し上げます。



陳情第6号

安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する陳情



意見として

- ・穂高プールをただちに廃止せず、つなぎの時間を設けつつ、市民との検討の機会を設けてほしいという陳情で、1万1,000人を超える署名は重い。公共施設再配置計画の試金石として、市民の声に議会がどれだけ寄り添えるか試されているのではないかと。
- ・プールの存続は財政面を考えれば慎重に検討する必要があるが、市側に市民との対話をしてほしい、という市民の声に対してもっと取り組まなければならない。市の利用者アンケート結果も整理されていない現実もあり、子どもたちのために真剣に考え方向性を出す必要がある。
- ・市側のプール廃止の意向と陳情者の続けてほしいという希望が真っ向から対立する状態だ。陳情が不採択の場合は、多くの市民の声を議会として見殺しにすることになりかねない。福祉教育委員会の委員で市民の声を議会としてどう受け止めるべきかを議論し、市民と市側が歩み寄るような調整ができないか。
- ・穂高プールは市民の娯楽や健康増進、子どもたちの楽しみの場、居場所づくりにも寄与しており、今後もそのような役割を継続させることは必要ではないか。署名などから、陳情者の熱意が本当に伝わってくる。
- ・昨年の9月議会で不採択となったものとはほぼ陳情項目が同じではあるが、今回は署名が添えられていること、財政的にも合併特例債の期限が伸びた、という2つの環境の変化があることを考慮すべきでないか。市は相変わらずプール廃止を断言しているが、今回の陳情者の、議会に間に入ってほしいという真摯な願いも考慮し、委員会協議会を開催し議論する時間が必要ではないか。代替案の「あづみ野ランド」については、穂高広域施設組合議会で議論する時間ももらいたい。



以上の意見があり、継続審査としました。

陳情第3号

長野県池田工業高校への支援に関する陳情書



意見として

市からも多くの生徒が通っている高校の存続に関わることでもある。安曇野市内に4つある公立高校の存続と関連性も考慮しながら引き続き慎重に審議すべきだ。



以上の意見があり、継続審査としました。

陳情第4号

家庭教育支援法の制定を求める意見書提出の陳情



反対の意見

松枝 功 現在、国においてこのような法律の制定に向けた動きはなく、市においても各担当部局が関係する条例等できちんと対応している状況なので、意見書を提出する時期ではない。



福祉教育委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第2号)を含む議案11件と請願2件、陳情4件を、9月21日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→ 6~11

議案第82号

平成29年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について



反対の意見

猪狩 久美子 三郷西部認定こども園と三郷東部認定こども園が整備計画から外され民営化の方向であること、保護者や職員、市民の批判や不安に十分答えられないまま民営化を進めていること、保育士の約7割が非常勤職員という異常な状況であるため反対する。

賛成の意見

中村 今朝子 両認定こども園の方向性については、一番よい方向を関係者で検討している。非常勤職員の待遇についても、少しずつ改善している。民営化については、保護者の必要なニーズに応えていくという意味でよいと考える。



議案第83号

平成29年度安曇野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について



反対の意見

猪狩 久美子 国保加入者は所得水準が低い層や年金暮らしの高齢者が大半を占め、国保税の負担感が大きい状況で、国保税が上がると滞納者が増えるのではないかと。平成29年度の基金残高は約8億5千万円あり、1世帯あたり1万円の引き下げを提案してきた。国保税の引き下げを望む市民の切実な声に応えていない。



賛成の意見

中村 今朝子 国保税は決して安くはないが、国保会計を維持していくために必要。今後は県に移行される状況である。市では医療費抑制にもしっかり取り組んでいる。

議案第85号

平成29年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について



反対の意見

猪狩 久美子 平成29年度から訪問介護・通所介護を地域支援事業に移行する総合事業が始まった。国のガイドラインの内容では、必要な介護サービスも制限されかねない。介護保険の給付で支えることが必要ではないかと。

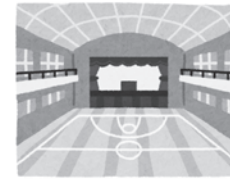
賛成の意見

松枝 功 新制度は、高齢者が社会参加をすることで介護認定に至らない健康な高齢者を増やしていく視点に変わってきているものだ。開始から1年でまだ評価に至らない状況の中、市はよく取り組みを行っている。

総務環境委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第2号)を含む議案4件を、9月20日に審査しました。議案名や本会議での議決結果等→



## 総務環境



### 議案第72号 平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出 2億3,200万円の増額について審査しました。

#### 反対の意見

白井 泰彦 新総合体育館の建設は、次の世代に大きな負担を残す計画であり、市民からもいまだに反対の意見が多く聞かれる。

#### 賛成の意見

小松 芳樹 財政面では社会資本整備総合交付金を活用するなどしており、国・県の交付決定によるところが主であり、また事業を進めるうえでも必要な予算と考える。

#### 反対の意見

小林 純子 将来の財政負担を考えると新総合体育館建設は、すべき事業ではないと考える。

### 議案第97号

#### 土地の取得について

新総合体育館建設に関わる新たな土地の取得について審査しました。



#### 反対の意見

白井 泰彦 新総合体育館の建設は次の世代に大きな負担を残す計画であり、関連する土地の取得については反対する。

#### 賛成の意見

宮下 明博 国の交付金の申請をするには10ha以上の土地が必要であり、今回の土地取得について賛成する。

経済建設委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第2号)を含む議案19件と陳情1件を、9月25日に審査しました。議案名や本会議での議決結果等→

## 経済建設



### 議案第7号 主要農作物種子法の復活等をもとめる陳情

#### 意見として

- 種子は日本全国一定で決めるのではなく、それぞれの地域によって守っていくべき種子がある。地方の裁量によって決められる条例等を作り、守っていくことが本来の地方分権である。
- 要綱だけでは不十分だ。県でも条例を設ける請願が議会で採択されており、これを重く考えるべきだ。
- 種子の品質が安定したり農業をめぐる変化があり、廃止されたと考える。
- 都会と田舎では全く状況が違うので、国で管理するより県で主体性を持ってやるべきだ。
- 米は日本文化そのものであるが、米離れになっている。その原因は種子法により奨励品種ばかり作り、米の多様性がなくなっているのも一因だと思う。
- 民間参入を促すことは、米文化を守っていくためには絶対に必要なことだ。

以上の意見があり、県の状況を見て調査・研究をすべきものとして継続審査としました。



清政会  
一志 信一郎

### 須砂渡トンネルの 早期建設を



問 須砂渡トンネルについては、平成7年度に県による仮設計が行われ、検討されたが、平成15年度(公共事業見直し)があり、今日まで休止となっている。平成28年度の調査結果と今後の取り組みを伺う。

#### 教部

博物館設置に至るまでは、文書館を含め既存施設を活用しながら博物館事業を展開する。

市長 県では、平成28年度の調査でトンネル予定範囲を延長約295メートルとし、これを含む未改良区間約620メートルの概略設計を実施した。しあわせ信州創造プラン2・0(長野県総合5か年計画)の中で、当該路線は事業化に向けて調査の実施を検討する道路と位置づけられている。市は須砂渡トンネル建設促進協議会を平成26年3月18日に設立し、長野県建設部長に早期事業化に向けて要望活動を地域の皆さんとともに努めていく。

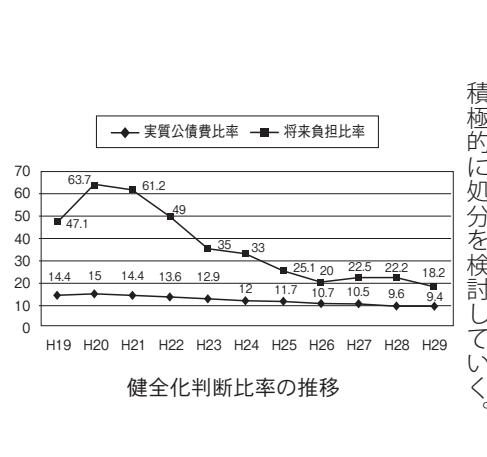
問 文書館を中心とした生涯学習の将来像について伺う。

教長 文書館は、歴史的もしくは文化的価値を有する公文書等を収集・保存・閲覧に供し、調査・研究を行うことを目的とした施設。新しい



須砂渡トンネルの予定地

市長 廃止の方向性は変えることはできない。プールの運営については、庁議においてまだ結論を出していないが、この結論を踏まえながら



清政会  
山田 幸与

### 健全な財政運営の継続 を 目指した行政運営を



問 今後予定する大型事業を考えた場合、施策の見直しや経費の節減に本気で取り組まないことには、第5次財政計画の見直し結果より厳しい財政運営の時期を迎えることになる。そこで、財政健全化への取り組みや、公共施設再配置計画の実行について伺う。

#### 市長

ご指摘のとおり、経営的視点による施策の見直しや行政改革の視点から経費節減は避けて通れない課題だ。公共施設再配置計画はハード面での市民サービスのスリム化であるというように捉えている。

#### 市長

土地を貸している側と借りる側の意思が統一できず苦慮しているが、公平公正な市政運営と、税金を捻出するということから、今後とも、市の基準に沿った形で見直しを逐次進めていきたい。

財政 将来的にも必要のない普通財産は、積極的に処分を検討していく。

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)





### 「子どもたちの健やかな育ちのために」問う



**問** 教育・保育の環境について聞く。暑さ対策の今後の取り組みは。

やあづみ野エフエムによる放送を考えたかどうか。

**市長** 認定こども園、幼稚園、小・中学校等冷房設備が必要な部屋数、財源等調査、報告を指示した。冷房設備の取り組みが先行している長野市、千曲市に学ぶため職員を派遣した。認定こども園、幼稚園の遊戯室は特に重要であり、体温調節能力が低い幼児の健康を優先させるため整備計画を前倒しし、全園へ設置を目指したい。そのため新年度予算に計上し、財源はふるさと寄附金等の活用も視野にいれる。

**総務** 人命を守るために迅速な対応が必要な事案と判断した場合のみ行っている。警察との情報共有を図り、連携を密に対応したい。

**教長** 夏休みを長くする考えは。授業時数の確保、秋に行われる行事、保護者の声等の課題がある。他の長期休業も含め、年間計画の見直しが必要となる。学校関係者、保護者から意見を聞き、検討したい。

**問** 午前の授業の疲れをいやし、午後の授業への取り組み、やる気や集中力アップのため、小・中学校に昼寝の時間を設ける考えは。

**教長** 給食の片づけの後10分から15分の時間の確保は可能である。昼寝の効果は校長会等にも伝えて給食後の過ごし方の一つとして位置づけるようお願いしたい。

**福祉** 現在の計画では、2023年度までに全ての保育施設の遊戯室に、冷房設備を整備する計画を、前倒しするよう準備を進める。3歳以上児の保育室等への冷房設備の設置に伴う全体費用の積算については結果が出次第、委員会なり議会に報告する。

**問** 不審者情報は増えているのではないか。不審者の発見や抑止力のため防災行政無線の屋外スピーカーカー

**市長** 冷房設備が必要な部屋数、整備期間、財源問題、維持管理費などを速やかに結果を報告するよう指示を



西穂高認定こども園の様子（エアコン設置済）  
（遊戯室は来年度全園へ設置の予定）

**問** 園児、児童、生徒たちを酷暑の環境から早期に開放してあげるために、合併特例債を活用して、2019年度から全教室エアコン設置に向けて取り組んでほしい。



穂高南小学校の特別教室（図書館）に設置されているエアコン



### 認定こども園、小中学校にエアコン設置を



**問** 私は今年の猛暑は来年以降も続くかと判断し、8月上旬に、全ての教室にエアコン設置を要請し、その費用について積算するよう担当課長に依頼した。その結果について伺う。

した。合併特例債の活用が可能か、関係機関と相談をしながら進めてまいりたい。

**教部** 12月議会には、冷房設備の導入に係る概算事業費を示せるよう準備を進めている。

**財政** 事業所や住宅等の建設促進を図り、固定資産税の収入を図る。新たな雇用の場を確保し、若い世代の市外転出超過に歯止めをかける等の施策を展開したい。

**福祉** 現在の計画では、2023年度までに全ての保育施設の遊戯室に、冷房設備を整備する計画を、前倒しするよう準備を進める。3歳以上児の保育室等への冷房設備の設置に伴う全体費用の積算については結果が出次第、委員会なり議会に報告する。

【その他の質問事項】  
○健康ポイント事業の充実



### 市民のための公共施設再配置計画の進捗を



**問** 進行の目標と取り組みは。

**市長** もっと早い段階から説明を行う。

**総務** 専門部署を設けず、施設単位で、

**問** 長峰荘、穂高プール、まちづくり会館への市民に寄り添った対応を。

**商工** 長峰荘は民間譲渡を検討する。まちづくり会館は協議を重ねる。

**教部** 穂高プールは廃止の方針。意見、アンケート等踏まえ方向性を出す。

**保育・教育施設等へのエアコン設置等の暑さ対策や、熱中症対策の促進を**

**問** 促進の目標と取り組みは。

**市長** 2019年度中に全園に設置する。

**問** 保育・教育施設にエアコン設置を。

**福祉** 早期に全園の遊戯室に設置する。

**教部** 児童館・児童クラブは見極める。

**問** 熱中症対策や見守りの促進を。

**保健** ホームページやチラシで。熱中症予防の説明と水分摂取の声かけも。

**教部** 学校に柔軟対応をとるよう指示。

**福祉** 熱中症対策と訪問見守り活動を。



市民の要望の強い穂高プール

**森林経営管理の促進と新たな施策の推進を**

**問** 促進と推進の目標と取り組みは。

**市長** 新たな森林管理システムを活用。

**問** 森林づくり県民税や仮称森林環境譲与税等を活用し、里山整備利用や屋敷林保全等の新施策の推進を。

**農林** 里山整備は県の検討結果を見ながら対応。屋敷林保全は該当しない。

**問** 森林環境譲与税等の活用で森林の少ない友好都市と連携した森林整備や木材利用の取り組みを活性化し、都市・農村交流等の促進を。

**政策** 取り組みが決まれば情報提供する。

**教長** 幅広い年齢の人の交流を期待する。



### 高齢者肺炎球菌ワクチンで医療費削減を



**問** 2014年度から始まった高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種制度は、本年までの5年間で65歳以上の全人口をカバーする経過措置期間を設け、生涯に1回だけ制度を活用した接種が可能であり、大きな医療費削減効果も期待されている。本市の接種率を伺う。

**保健** 2017年度の接種率は61・5%で、県下19市で最も高い数字である。

**問** 接種して肺炎予防することは、高齢者の健康寿命の延伸と医療費の削減に大きく寄与でき、災害時の感染予防の観点からも未接種者対策は重要。2019年度からは65歳の方だけが対象になる。1年間の救済措置を取るべきと考えるが、

**保健** 定期接種の対象範囲を越えての助成については、考えていない。

**問** 小中学校のエアコン設置について

**教長** 地域に開かれた学校づくりの参考にしたい。

【その他の質問事項】  
○小中学校のエアコン設置について  
○学校・通学路の安全対策について



### 小中学校聴講生制度を提案

**問** 2018年3月に策定された、第2次生涯学習推進計画の基本理念に対する見解を伺う。

**市長** 高齢者が新たな生きがいや健康つ





公明党 藤原 陽子

### 災害に負けない まちづくり



**問** 民間所有のブロック塀撤去を加速するために、撤去後、軽量フェンスにする場合に補助を受けられないか要望する。また、勸奨の強化、無料診断について伺う。

**市長** 大阪北部地震において、登校途中の女の子がブロック塀の下敷きとなって亡くなった。補強が撤去されていけば、事故は防げた。市の通学路調査では、310余りのブロック塀が存在し、このうち老朽化が顕著な10カ所について、撤去を促す案内をした。また、本市は緑のまちづくり事業を推進し、生垣を設置するために、ブロック塀を撤去した場合に助成している。で、この事業を活用してほしい。現在5件の申請で数は少ないが、今まで実施をした所へ出向き、実態を調査して、声を聞くよう指示しており、それらを踏まえて検討材料にしていく。

### 総務

県の浸水想定区域調査が2019年度に行われた時点で更新予定。地震は、第3次被害想定に基づいての記載なので変更の予定はない。



2018年度に行われた市の総合防災訓練

**建設** 大規模盛り土造成地の有無や、その

### 問

盛り土造成地の情報公開について、公開すると伺ったが、経過は、



公明党 小松 芳樹

### 堆肥製造が一時止まった 堆肥センターの今後



**問** 8月に報告があった三郷堆肥センターの決算報告では、17年目にして初めて実質黒字となった。しかし、市民の方から「センターに堆肥がなくなったように買えない」と伺い、現地を確認すると、原料の糞尿類が山積みで、攪拌機も停止していた。運営はどうなっているのか。また、今後経営努力を指導改善されるのか伺う。

**農林** 所長が交代し、良質な堆肥製造における引き継ぎがうまくできなかったことと、施設の老朽化、特に屋根の腐食で雨漏りが影響し、攪拌機が止まってしまった。

### 【その他の質問事項】

○森林管理経営法の施行を受けて

**副長** 経費の節減等で平成29年度は黒字となったが、このような事態になり、経営者としてユーザーの皆さんにお詫びする。今後は経費の節減はもちろん営業努力も重ね、新規ユーザー開拓等を実施していく。

**市長** 三郷堆肥センターが長年の赤字を脱却できたのは、利用していただいた皆さんのおかげと感謝してい



三郷堆肥センターの施設改修が待たれる



政和会 小林 陽子

### 安曇野市を一つにする ために市誌編纂を問う



**問** 合併から13年、市民の多くが一つになった安曇野市を実感するものとして、市誌編纂や新市立博物館は位置付けられるのではないかと

**教長** 安曇野市の歴史、文化、自然等を一つにまとめた安曇野市誌として編み直す必要がある。合併20年の区切りでも完成を目指す。新市立博物館構想の進捗はどうか。現在の郷土博物館は施設的に不十分。新規建設が望ましいが、既存施設の活用も視野に入れ、市にふさわしい博物館の実現を図りたい。

**問** 観光面でも大きな目玉になる可能性は高いと考えるがどうか。

**商工** 市観光振興ビジョンでは、歴史、文化、芸術も重点に据えている。博物館や美術館は、歴史文化等を体系的に学べ、観光面でも有効だ。

**問** スマホ・ゲーム依存への対策

2018年6月、世界保健機構がゲーム障害を新たな疾病に認定した。日本でも、インターネット依存の中高校生は約93万人と推測され



合併前の旧町村が編纂した町村誌



政和会 遠藤 武文

### シルバー民主主義を 民主的に乗り越えたい



**問** 穂高プールの継続を希望する陳情が出ている。指定期間の延長を有意義に使い、市民と充分な対話をしているのか。

**教部** 当初の計画どおり市民説明会を行い、プール利用者からのアンケートも行った。

**問** 充分に対話していれば、市民が議会を頼って陳情を出すことはない。指定期間の残り半年で、ワークショップを開催しないか。

**教部** 市民説明会で活発な意見をもらったのでワークショップの予定はない。アンケート結果も踏まえ、運営の方向性を決めていきたい。

**問** 今後は民間の資金で公共施設を新設することも選択肢に加えるべき。政策部がPFIの優先的検討規定の策定に着手することを願う。穂高プールなど、子どもたちのケアや教育に必要な施設には元気な高齢者の力が不可欠。アクティブシニアに活躍の場を用意しない限り地方創生はない。働ける高齢者には心分の負担を求め、その余力を



シニア世代が子どもを支えるために

※PFI：プライベート・ファイナンス・イニシアティブのこと。公共施設の設計建設等に民間資金を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う手法



★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教育長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教育



日本共産党 安曇野市議員 猪狩 久美子

### 穂高プール廃止をめぐるとの問題



**問** 穂高プールは単にレジャー施設というだけでなく、教育的、福祉的、さらに観光資源として存在している施設だ。この施設が大事な役割を果たしている施設であるという認識はあるか。

**市長** プールがなければいけない、その時代、時代に合わせていろいろと工夫はある。プールがないことにより教育効果が上がらないとか、親子のふれあいができないということではなくて、工夫すればいろいろな形の中でできる。

**問** 市では来場者からアンケートをとった。これを集計し、今後どうしようとしているのか。

**教部** 3074枚を回収し、現在集計をしている。今後のプール運営の方向性を決めていくデータのの一つとして生かしていく。

### 認定子ども園の民営化について

**問** 民営化中長期ビジョンの中に多様なニーズへの対応、ということが出てくる。市はすでに早期延長保育



育、未満児保育、土曜保育、病児病後児保育は行なっているが、これ以外にニーズがあるのか。公立が多様なニーズに応えられない難しさは何か。

**福祉** 保護者の就労形態も多種多様化し、早朝保育、延長保育、休日保育などの時間的ニーズの増加や幼少期からの学習を目的とした特色ある保育ニーズも高まってきている。公立は公平性に基づいた保育環境を実施していく必要があるが、多様な保育ニーズへの柔軟な対応力は民間の方が優れている。



共和会 松枝 功

### 松糸道路のルート案 見直しへの市の対応は



**問** 県が示している松糸道路Bルート案には地域の反対が強く、膠着状況にある中、「地域理解が得られるルートの再調査、再検討を県に要望していく」との市の意向が表明された。今後の対応と覚悟は。

**市長** 市が厳しい地域の意見を集約し県に要望することで現状を打開したい。Aルートの実現性も含めた再検討を文書で申し込む。

**問** 一方で、地域が受け入れ可能なルートを市が取りまとめ、県に提案して欲しいとの声も聞くが。

**市長** ルートは事業主体の県が方向づけすべきこと。市はBルートに拘らず実現性を探ってほしいと申し出た上で、県に協力していく。

**問** 松糸道路は不要な道路だという根本的な反対の声もあるが。

**市長** 長い将来を広域的に見て、この地域が生き残るために必要な道路で、建設促進の立場に変わりはない。

**問** 意思疎通が途絶えた「反対期成同盟会」との関係修復が必要では。

**市長** 以前の誤解等を解いて、今回県へ要



課題の多い松糸道路 Bルート案

望をする中でも、しっかりと意思疎通を図っていきたい。

**問** 明科地域14地区の説明会でも市から新たな提案等は無かった。前回6月議会では、長峰荘について「存続と発展を目指す会」とキヤッチボールし、民間譲渡の条件整備を進めるとのことだったが、進展しているように見えないがどうか。

**市長** 民の力を借りても存続させたい思いは地域と同じ。指定管理期間も少なくなってきたが、内部協議を深め、しっかり取り組む。



日本共産党 安曇野市議員 井出 勝正

### 子どもたちを、そのままの姿で帰す危機管理



**問** 預かった子どもたちをそのままの姿で家庭に帰すのが学校などの危機管理の基本。8月10日に市議団として、小中学校の普通教室や子ども園へのエアコン設置など、熱中症対策5項目について質問を市に申し入れた。

**市長** 子どもへの命と健康を守る立場から、冷房施設の必要な部屋数など調査を指示した。個人や介護を必要とする家庭までは非常に難しい課題。

**問** 部活指導の安全・安心研修会で、全国柔道事故被害者の会代表などが強調された「万が一事故が起こった場合、謝罪と誠意ある学校対応を」の指摘をどう考えるか。

**教長** 事故が起きた際は最善の対応がなされるよう、全小中学校に指導・助言している。武道担当の教員には事故防止と発生時対応力を高めるため、指導者研修や事故対応研修会への参加を促している。特に脳震とうは重大な事故につながる

と認識している。紹介された名古屋

屋市立向陽高校柔道部の例を、学校のとるべき対応の在り方として小中学校の校長に伝達した。

**問** 子どもたちに寄り添う危機管理子どもの実情と相談窓口はどうか。

**教部** 家庭児童相談室、子ども相談室電話相談等に対応しているが、複数あることで子どもたちに分かりにくい。相談業務を統合し、環境を整え、来年度から実施したい。

**問** ハザードマップ可視化はどうか。

**総務** 県の最大規模降雨による浸水想定区域調査後、更新する。地域住民と作る自主避難計画マップは、3地区で作成済みだ。



震度7の体験（東小倉地区防災訓練）



無党派 増田 望三郎

### 保育無償化とドッコイ 踏ん張る安曇野市



**問** 保育無償化になれば子どもを預けて働く母親も増え、都市部では待機児童が増えると言われているが、安曇野市ではどうなるか。

**福祉** 3歳以上児はほぼ全ての子どもが施設を利用していて、ニーズは増えない。ニーズが増加している3歳未満児は施設整備も進めているが、待機児童の増加は現時点では予測し難い。

**問** 保育無償化により、保育費用の市の負担は増えるのか減るのか。

**福祉** 実質的には、市町村の負担は1割程度軽減される見通しであると国は説明をしている。

**問** 自然保育に取り組み民間の認可外園は、無償化対象外となる。認可外園から認可園に子どもが移り、認可外園の経営状態が立ち行かなくなるのでは。

**市長** 自然保育の認可外保育施設は公立の認定こども園などでは得られない、より自然保育に特化したもの。独自性を発揮すれば心配する状況は回避できるのではないかと。



体験と人的交流で滞在型インバウンドを

**問** 自然保育は本市のアピールポイント。今後も自然保育推進の方針は変わらず、市単独での補助施策も継続されるのか。

**市長** 今の体制は維持していきたい。無償化による市負担軽減分を財源として、自然保育の民間認可外園に上積み補助を検討できないか。本市の子どもとして同じ条件が望ましいが、現段階では補助金の上積みは考えていない。こういった支援ができるのか研究する。

**【その他の質問事項】**  
○観光振興ビジョンの見直しと、体験と人的交流のインバウンドを

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。（会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。）



★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 福祉部長→福祉 教育部長→教部



政和会 内川 集雄

### 信州安曇野あやめまつりに関する課題



**問** 5万本の花菖蒲が咲き誇るといふキャッチフレーズとはほど遠い、寂しい限りのあやめまつりに関して、市長はどのように考えるか。

**市長** 観光資源の柱となる花菖蒲をお客様にお楽しみいただけないという状況。これでは交流人口拡大のための素材としては大変難しい。信州安曇野あやめまつりを今後どのような位置づけにしていくのが妥当かを、関係する方々の意見を伺いながら検討していく。

**問** 連作障害等の対策に対してどのように対応するのか。

**建設** 土の入れ替えや客土、良質な堆肥の混入、また丈夫な品種を植え、株分けをあわせて実施。業者による土壌診断を実施するなど、改善策を検討している。

**問** 安曇野市の観光資源の一つである信州安曇野あやめまつりは、安曇野市の観光誘客としての程度寄与（貢献）しているのか。

**商工** あやめ公園、龍門淵公園は、市内でも有数の花菖蒲の名所として観光



寂しい限りのあやめ公園

光情報の発信に努めてきた。県外からの入り込みは減少している。信州安曇野あやめまつりの位置づけを見直す。

**問** 日本全国からカヌー愛好者が前川に来るには、松糸道路が必要だ。建設 高規格道路が整備されれば、アクセス性が高まり、前川、明科駅周辺のにぎわいが創出される。

**【その他の質問事項】**  
○インターネット公売の効果について  
○ふるさと納税（寄附）と災害支援について



日本共産党 安曇野市議団 白井 泰彦

### 平和施策を問う



**問** 市の平和施策について伺う。

**市長** 私自身も大戦で父を亡くした。市民が平和に暮らせる社会の構築が私どもの責務である。安曇野市平和都市宣言の精神を尊重し、地域に根差した平和活動を推進したい。特に若者には、学び、考えてもらいたい。

**問** 市における戦争の事実を明らかにすることについて伺う。

**教部** 戦争の惨禍を学ぶことは、平和な未来をつくる礎になる。博物館や文書館の活動、市誌編集に委ね、市民活動をサポートしたい。

**問** 学習の機会について伺う。

**総務** 平和のつどい等で、学ぶ機会を提供してきた。

**問** 安曇野市平和都市宣言の制定後の評価と今後の方針を伺う。

**総務** 平和推進にかかわる事業は、10周年に拘らず、継続していきたい。



有明演習地跡の説明板（豊里開拓記念碑横）

**問** 戦没者の捉え方、その氏名の確認について伺う。

**福祉** 戦没者追悼式における対象者は戦争の犠牲者全てである。市として把握している対象者の名簿はない。

**問** 「あづみん」の運行見直し  
予約が取れずに利用をあきらめる人への対応を伺う。

**政策** 状況調査を年内継続し、見直しを検証し、利用促進につなげたい。

**問** 「あづみん」実利用者の減少傾向の検証と利用者増の方策を伺う。

**政策** 70才代の運転免許証所持者の増加が大きな要因と考える。



無会派 平林 明

### 第36回全国都市緑化信州フェアの取り組みは



**問** 2019年4月25日から6月16日に行われる全国都市緑化フェア成功に向け、取り組みはどうか。

**市長** 国道147号線バイパス沿いに水色の花を、拾ヶ堰じてんしゃ広場西側に松葉菊を植栽予定で、ボランティアを募集している。半年前イベントも予定している。

**問** コンセプトに安曇野らしさの発信と発信とあるが、全国、世界にアツ！と言わせるような、安曇野市独特な、お舟や人形、巨大なカブトムシやクワガタ、昆虫の彫刻を展示するとか、安曇野らしさを出すことはどうか。

**建設** 予算面にも制約があるので厳しい。

**消防団、詰所の整備、消防車両に関して**

**問** 詰所の新築、改築にあたっての基準と、駐車場、舗装工事等の周辺整備は一緒にできないか。

**総務** 2011年度策定の消防団詰所耐震改修工事等実施予定に基づいて実施している。2019年度より



市役所東玄関のカウンタボード（写真は9月19日時点のもの）

詰所の建築と同時に火の見櫓は撤去し、ホース乾燥塔を設置する。まずは詰所施設整備を優先して、周辺整備はその後に個々に対応していく。市内41カ所のうち、10カ所が未舗装。

**問** 消防団員の確保はどのようにしているのか。定員数は見直しをするのか。

**総務** 2018年8月に市長から消防委員会へ消防団組織と団員定数等の見直しに関することを諮問。2018年度末に中間報告を行う。2019年10月に最終答申を行う方向で検討を進めている。



無会派 小林 純子

### 入湯税を目的税として政策的に活用しよう



**問** 新しやくなげの湯は好調で、入湯税収入は伸びている。市にとって温泉は地域振興や観光振興の重要な資源。その資源を生かす方向で入湯税の使い方を考える必要があるのではないか。

**財政** 過去5年間の入湯税収入の平均は4千270万円余で、2017年度は5千89万円。入湯税を使う事業をあらかじめ明確にし、観光振興や地域振興に努めていきたい。

**問** 市にとって温泉の存在は貴重であり、地域振興や観光振興の重要な資源。入湯税の政策的な有効活用は。

**財政** 関係部局と入湯税の配分等を協議する中で、具体的にどのような形で充当し、予算化するのがよいか、取り組んでいきたい。

### GIS活用で庁内連携を

**問** GIS（統合型地理情報システム）を道具として仕事の仕組みを変えることで職員の意識が変わり、複数の課と垣根を越えて連携の取れ



車椅子で入浴できるリフトを設置した浴室の事例

**政策** 職員の横断的な連携と情報化の推進ということでは、2019年から市の重要施策や法改正に沿った業務を中心に、安曇野市情報化基本方針を策定する予定で、GISの活用についてもその方向性を示していきたい。

**市長** 部局を横断した業務の連携、情報の共有化を図ることを指示しているが、より一層の対応と連携を図ってほしい。

**問** た仕事につながるのではないかと、GISを活用した庁内連携と政策支援について伺う。

**市長** 部局を横断した業務の連携、情報の共有化を図ることを指示しているが、より一層の対応と連携を図ってほしい。

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。（スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。）



# 市民の The Voice 声



降旗 道子さん  
(豊科)

## 野菜が食べられなくなる？

**農家民宿で、**修学旅行の都会の中学生と一緒に食事作りをして「いただきます」の時、「ワ、野菜が多い！」の声に、夫と私が驚きました。

## 長寿県長野を

支えているのは、身のまわりに当たり前のようにある豊富な野菜と聞き、一日の摂取目安は350グラムと教えてもらったのですが、何年か先にはこの野菜が食べられなくなる?!と聞こえてきました。現在、農業を支えているのは主に70才代の皆さんです。5年先は生産量が減り、輸入をと言っても、世界でも食糧が不足しているのだから、日本の都合のいいようには入ってこないというのがです。

## 来年は、

耕作面積を減らそうと思っただけですが、先祖から受け継いだ農地がたくさんあるのですから、子や孫、また非農家さんのことを思い、もう少しがんばってみようという気にな

りました。私一人が励んでみたところで笑ってしまうのですが、「何事も隗より始めよ」と言っし、と自分に言い聞かせ、来年は一畝増やそうと決めました。

## 私のまわりにも、

若い農業後継者の人が何人もいて頼もしい限りです。畦道で「お疲れさまです」と声を掛けるしか応援できずにいます。

## 市議会議員の

多くの皆さんとは、縁があり、誠実で精力的な方々ばかりで、頭が下がります。安曇野市の若い農業経営者の皆さんの夢がさらに膨らみますようお願いをお貸しください。(主婦の独り言、ご容赦ください。)



## 12月議会 定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」で観よう！傍聴をご希望の方は、市議会議場（市役所本庁3階）へお越しください。無料の託児サービスは、事前予約でご利用いただけます。ご希望の方は議会事務局（71-2156）へご連絡ください。

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28 本会議 (開会)	29	30	12/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 本会議 (代表質問)	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問・ 議案質疑・ 委員会付託)	14 委員会 (総務環境)	15
16	17 委員会 (福祉教育)	18 委員会 (経済建設)	19	20	21 本会議 (閉会)	22
23 (天皇誕生日)	24 (振替休日)	25	26	27	28	29

開会時間は、本会議 10:00～ 委員会 10:00～  
日程や開会時間など変更となる場合があります。

## 編集後記

◆北海道胆振東部地震は、地域の基幹産業である農業に深刻な被害をもたらしました。厚真町では、収穫目前の田んぼへ土砂が流れ込み、コンバインが入らない状況の中、地域の絆で残されたコメの収穫が代行されたとのこと。これから雪が降りますが、早期の復旧を祈るばかりです。

委員 藤原陽子

◆大阪市の生活保護不正受給は2012年から14年の3年間で10億円を超える。回収マニュアルを整備しているものの「費用対効果がない」との理由で、民事訴訟を提起したことは一度もない。費用対効果のあり方について考える材料にしたい。

委員 遠藤武文

## 議会広報特別委員会

委員長 林 孝彦 副委員長 井出勝正  
委員 小林陽子 白井泰彦 遠藤武文 松枝 功  
増田望三郎 藤原陽子 小松芳樹 沼田義人